

新しい仲間
A 三芳中新2年

O 自由の森学園高校新1年
S 三角小新6年
S 寺尾中新3年



2学期の終わりから春休みまでの間に入塾してくれた生徒達です。受験生の入試が終わって、卒業し寂しい気持ちでいましたが、个性的で面白い生徒たちがまた入ってきてくれて嬉しく思っています！

進学先（高校入試報告）

O 新座柳瀬高校
F 大宮光陵高校 美術科
E 所沢高校
H 川越初雁高校
I 富士見高校
H 秀明英光高校
S 新座柳瀬高校



23年度の入試も終わりました。公立高校入試は全員合格しほっとひと安心。

ここに掲載した受験生は、受験が終わるまでしつもん塾にいた生徒なのですが、一方で今回は中3の途中や入試直前で塾を辞めてしまった子がいました。少しその事について雑感を。

ある学校のある生徒の話ですが、進路選択について「そんな学校行くの?」「やめた方がいいよ」という言葉をクラスメートから言われたそうです。そういう価値観がクラスにあって、とても居心地が悪いと話していました。

スクールカースト、という言葉が少し前から言われていますが受験校（合格校ではなく）でもそのランクが決まってしまうような影響があるのかも知れません。一昔前、とある中学受験のバッグを背負っていることがステータスになったことがありましたが、どこを受験するのかということとでその人を判断するような環境の息苦しさを進路選択の時に生徒たちから感じました。

私自身はこれまでたくさんの生徒を送り出して、どの学校に行ったからいい、悪いは本当に「わからない」と思っています。そのきっかけはたくさんありました。例えば（偏差値が高く、自慢できる）とされている学校に行きすぐにやめてしまう子が続いたり、反対に自分の実力より入りやすい学校に入るとのびのび楽しそうに過ごし、その後ちゃんと社会に出たり進学していく様子を見たり、ということです。

もちろん目標を目指してがんばる事自体はとていい事で、そういう受験を否定していませんし、これからも応援します。ただ進路にはいろんな道がある。なのにみなが一つの物差しで測られて「いい」「悪い」とされるのはそろそろ終わりにしたいです。同じ時代、同じ地域の仲間と進路選択をきっかけに比較し合うのではなく、いろんな選択肢があり、自分はこういうことを学びたい、こういう仕事について生きていきたい、「自分は自分」ということを尊重しあって自分らしい進路を見出せるように手伝いたいと思っ

近況

・新しく女の子が同じ時間に来てテンションが上がった小学生。気持ちを落ち着けるためにイヤーマフ（耳あて）をして勉強することにしました笑 →



・雑談している時に「最近、自転車二人乗りしている人見ないよね」と話すと「え?」と驚いた表情のAくん。「うちの周り結構います」とのこと。彼が住む三芳町の上富は大人がまだまだ寛容でいいなあと思いました。

・筑波大附属坂戸高校に行き、海外の子と仲良くなり昨年タイに行ったSくん。この春はオーストラリアに行きました。若いうちにいろいろな経験をしてうらやましいなあと思っています。

NHKラジオの中学生の基礎英語

ラジオ英会話って知っていますか?もう100年近く歴史があるラジオで英語が学べる講座です。中学生向けにも放送しています。

月曜から金曜日、毎日15分で続けるとしっかり力がつくそうです。なによりとてもいい習慣ですね。英語が苦手な子におすすめです。塾でも何人かに試しにやってもらいました。→

「学校の授業よりわかりやすい」と言っていました。



気軽にできる英語学習。4月から新シリーズがスタートです。ぜひお家でもやってみてください。毎日15分の積み重ね。ネットで聞けるようQRコードを貼っておきます。



NHKラジオ英語概要

・レベル 中学基礎英語1 基礎英語2

→英語に自信のある中学生は基礎英語2でいいと思います。

・テキスト 本屋さん、ネットで買えます。660円/毎月

→音声だけでもいいですが単語がわかるのでテキストがあるといいです。

・音声 ラジオで聞けますが「らじるらじる（QRコード参照）」でも1週間限定で聞けます。

